

村 民 の皆さん へ

絆を大切に、今こそ心を一つに前へ

村長 西 山 猛

村民の皆さん！村長の西山です。

皆さんご存じのように、今日、パンデミックの発生とともに北海道・日本をはじめ、全世界を席卷している新型コロナウイルス感染症の広がり、地球規模で猛威を振るい、私たちは人類史上、かつてない大きな脅威にさらされています。

4月27日時点での感染者数は、すでに国外で300万人、死亡者数は、21万1千人を数え、国内では、1万3千人の感染者と394人の死亡者が確認されています。道内においても感染者が650人となり、首都圏や北海道では、今だ増加傾向に歯止めがかかっていません。

村においても、4月7日の国の緊急事態宣言を受け、これまでの対策会議から対策本部に組織体制を移行するとともに、札幌市と北海道の緊急共同宣言や北海道における緊急事態措置に基づき、医療、保健、福祉、教育などの関係機関との連携を密にしながら、新型コロナウイルスの感染拡大・阻止に向け全庁を挙げ、村民の皆さんとともに取り組んできたところです。

しかしながら、今回のような自らにつながる大切な人や愛する人の命と健康を脅かす目に見えない感染症との戦いは、その終息に至るまでにこれまで以上に多くの困難や犠牲をとまなうことが想起されます。

このような中であって、自らの命も顧みず、目に見えない病魔に立ち向かっている医療関係者の皆様の日々の粉骨砕身のご苦労とご努力には、本当に頭の下がる思いでいっぱいであります。心より最大限の感謝と敬意を表するものであります。

今こそ、全ての人々が、うつさない・うつらないの精神のもと、心を一つにして絆を高め、いかなる時も感染症の蔓延防止に向け、自らができることは何なのかを真剣に考えながら、主体的に行動することが強く求められています。

この感染症の蔓延により、日々、国民一人一人の通常生活の営みが阻害されているばかりではなく、経済活動の停滞により国内経済の大規模な影響が懸念され、市場経済も大きく後退を余儀なくされているのが現状であります。

本村におきましても、国や道からの不要不急の外出の自粛や三密の回避が要請されていたことに伴い、商工業や基幹産業の農業や経済にも少なからぬ打撃を受けております。

現在、国の緊急対策の実施とともに、村としても関連の緊急対策の実施を進めているところです。今後の状況の変化に合わせ、事態の長期化と深刻さに危機感とスピード感を持ち、職員一丸となって対応策の速やかな実施に努めてまいりたいと考えています。村民の皆様からの心からのご理解とご支援を切にお願いいたします。

こんな時だからこそ村民の絆を深め、ひるむことなく感染症に立ち向かい、祖先から引き継いだ、美しく、豊かで愛すべき、ふるさと更別の永遠の繁栄を願うべく、更別村開村50周年のイメージソングとしてつくられた「ぼくらの旅は、おわらない」を夕方6時のチャイムの時に流したいと思います。

笑顔と笑い声があふれ、一人一人が輝く更別村の実現には、この歌に託された村民の思いや願いを胸に、初心に立ち返り、今一度、お子さんからお年寄りの皆さんまで村民一丸となって、勇気を奮い起こし、希望ある未来に向け前に進まなければなりません。

歌詞の2番より～

風にのる雲のように高く 飛ぶ自由を手に入れた鳥たちも
傷ついた時にはゆっくりと 翼を休める場所がある
さあおいでよ 確かめたい 気持ちがここに あるはずさ

それは 君が知らない 遠い世界に ふれただけ
なつかしい空の 光あびて 舞い降りてくればいい
きっとまた 飛び立てる

さあ行こう 何も恐れず 自分の道は 決めたから

今、日本中の子供たちが、若者が、そしてお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんが出口の見えない歩みに戸惑い苦しんでいます。

でも、あきらめてはいけません。必ず、今の皆さんの不安や苦悩が、いつか明るい未来の希望となる日が来ます。

その日が来るのを信じて、皆さんで励まし合い、ともに手を携えて一步一步、勇気を振り絞り、前に進んで行きましょう。

・・・決して明けない夜はないのですから・・・。